2024（令和６）年度

大学院学生募集要項

文 学 研 究 科　日 本 文 学 専 攻　修士課程

社会福祉学研究科　人 間 福 祉 専 攻　修士課程

■一般入試・社会人入試

試験区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続締切
前期	９月13日（水）～10月25日（水）必着	11月 ４ 日（土）	11月10日（金）	11月24日（金）
後期	12月25日（月）～２月６日（火）必着	２月16日（金）	２月26日（月）	３月９日（土）

■外国人留学生入試

試験区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続締切
Ａ日程	９月13日（水）～10月25日（水）必着	11月 ４ 日（土）	11月10日（金）	11月24日（金）
Ｂ日程	12月25日（月）～２月６日（火）必着	２月16日（金）	２月26日（月）	３月９日（土）

HIROSAKI GAKUIN UNIVERSITY

弘 前 学 院 大 学

目　次

◆沿革　1

文学研究科　日本文学専攻　修士課程

1　文学研究科の三ポリシー　2
2　特色と概要　2
3　修士論文および学位　3
4　教育職員免許状　3
5　履修基準および授業科目　3
6　文学研究科授業科目の概要　4
7　奨学金　5

＜ 一　般　入　試 ＞
募集人員等、出願資格、入試日程、出願手続、
出願上の注意事項　6

＜ 社　会　人　入　試 ＞
社会人募集の主旨、社会人大学院生に関する特例措置、
募集人員等、出願資格、入試日程、出願手続、
出願上の注意事項　7

＜ 一般入試・社会人入試　共通事項 ＞
入学者選抜方法、試験時間及び試験科目、受験上の注意
事項、合格発表、入学手続、学費一覧、入学辞退について
入試についての問合せ先、個人情報の取り扱いについて
寄付金について　8

＜ 外国人留学生入試 ＞
募集人員等、出願資格、入試日程、出願手続、
出願上の注意事項　9
入学者選抜方法、試験時間及び試験科目、受験上の注意
事項、合格発表、入学手続、学費一覧、入学辞退について
入試についての問合せ先、個人情報の取り扱いについて
寄付金について　10

社会福祉学研究科　人間福祉専攻　修士課程

1　社会福祉学研究科の三ポリシー　11
2　特色と概要　11
3　修士論文および学位　11
4　履修基準および授業科目　11
5　社会福祉学研究科授業科目の概要　13
6　奨学金　15

＜ 一　般　入　試 ＞
募集人員等、出願資格、入試日程、出願手続、
出願上の注意事項　16

＜ 社　会　人　入　試 ＞
社会人募集の主旨、社会人大学院生に関する特例措置、
募集人員等、出願資格、入試日程、出願手続、
出願上の注意事項　17

＜ 一般入試・社会人入試　共通事項 ＞
入学者選抜方法、試験時間及び試験科目、受験上の注意
事項、合格発表、入学手続、学費一覧、入学辞退について
入試についての問合せ先、個人情報の取り扱いについて
寄付金について　18

＜ 外国人留学生入試 ＞
募集人員等、出願資格、入試日程、出願手続、
出願上の注意事項　19
入学者選抜方法、試験時間及び試験科目、受験上の注意
事項、合格発表、入学手続、学費一覧、入学辞退について
入試についての問合せ先、個人情報の取り扱いについて
寄付金について　20

◆大学案内図　21
◆出願書類提出の注意事項一覧　22
◆入学願書等出願書類（所定用紙）

沿　革

弘前学院大学は、1886（明治19）年、青森県における最初の女子普通教育の学校として、「畏神愛人」のキリスト教理念に基づいて本多庸一により創設されました。

本多庸一は津軽藩弘前出身のキリスト者であり、青山学院２代院長（初代はマクレイ博士で、本多氏は日本人初の院長）として、またメソジスト教会初代監督としてつとに知られ、新島襄、内村鑑三、新渡戸稲造等と並ぶ文字通り日本におけるキリスト教の先駆者でした。

校名は、当初基金の寄付者ライト夫人の名をとり来徳女学校と称されました。その後弘前遺愛女学校 1887（明治 20）年、弘前女学校 1889（明治 22）年、弘前聖愛高等女学校 1946（昭和 21）年と改称され、第二次世界大戦中の辛酸にもめげず、キリスト教主義教育の精神を貫き、今日のゆるぎない礎を固めてまいりました。

1948（昭和 23）年に学制改革により、弘前聖愛高等学校となり、弘前聖愛中学校を併置しました。

1950（昭和 25）年、これまでの歴史と伝統を基盤に短期大学（英文科）を弘前市坂本町に開学、この年に校名を弘前学院と改め、以来本学院の各学校を弘前学院短期大学、弘前学院聖愛高等学校、弘前学院聖愛中学校とそれぞれ称しました。その後 1951（昭和 26）年、それまでの弘前教会の経営になっていた若葉幼稚園、愛光幼稚園を引き継ぎ、1958（昭和 33）年に両者を一つにして弘前学院聖愛幼稚園とし、1971（昭和 46）年念願の四年制大学を開学するに及びました。その後、時代の趨勢に伴い、1980（昭和 55）年３月に弘前学院聖愛中学校、1995（平成 7）年３月に弘前学院聖愛幼稚園が廃止となりましたが、1999（平成 11）年４月には弘前学院短期大学が地域社会の要請に応えて大学社会福祉学部に発展的に改組転換され、ついで 2003（平成 15）年４月、社会福祉のより高度な専門知識・識見および技能を有する職業人の養成を目指し大学院社会福祉学研究科が設置され、2005（平成 17）年４月には地域医療教育の充実を目指して看護学部が開設され、同年、本学文学部における教育の基礎の上にさらに大学院文学研究科が設置され現在に至っています。

2006（平成 18）年４月に聖愛高校の校舎内に中学校を開設し、中学校から大学、さらには大学院までの一貫教育の充実を指向しています。

文学研究科日本文学専攻修士課程

1　文学研究科の三ポリシー

(1) アドミッションポリシー　学生受け入れの方針

建学の精神「畏神愛人」を理解し、日本語・日本文学・日本文化に関して、基礎的な理解、知識と課題分析能力を有し、深く探究しようとする人、また、各分野における地域の特質の解明とともに、それを総合的に把握しようと努め、さらに、その研究を通して地域社会の発展に寄与しようとする人を受け入れます。

(2) カリキュラムポリシー　教育課程編成・実施の方針

日本語・日本文学・日本文化の各分野に関する高度な専門的知識を体系的に修得し、とくに北東北をはじめとするそれぞれの地域性の解明、および内在する普遍性を追究できる能力を獲得できるように授業科目を設置し、また、主体的に研究を進め、論文執筆に取り組めるように教育課程を編成します。

各分野に関する講義科目の「特論」や演習科目の「演習」を設置しています。講義によってその分野の事項を学んだ上で、次に演習によって学生自らがその分野の問題に取り組むという形をとります。こうしたコースワークを基礎にして、リサーチワークとして学生自らがオリジナルな研究を行うことを目的にした通年の必修科目「課題研究Ⅰ」を1年次に、さらに「課題研究Ⅱ」を2年次に設けて、「課題研究」を段階的に履修することで修士論文がスムーズに作成できるようにします。各分野における「特論」や「演習」の授業科目が計22単位、「課題研究Ⅰ・Ⅱ」が計8単位で、コースワークとリサーチワークのバランスが適切になるように配慮しています。

(3) ディプロマポリシー　学位授与の方針

建学の精神を基にしながら、日本語・日本文学・日本文化の各分野を研究対象として、各領域の地域性の解明、および内在する普遍性を追究できる能力を身につけます。そして、深い専門的知識と広い視野をもって、自ら課題を発見し、解決できる研究遂行能力を身につけます。また、そこで得た知見を社会に発信する一方で、積極的なコミュニケーションを通して他者との協働のもとに、地域社会の発展に寄与することを目指します。

以上の能力を身につけ、研究科に2年以上在学し、所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出し、その審査および最終試験に合格した者に、修士（文学）の学位を授与します。

2　特色と概要

(1) 地域の言語・文学・文化を発掘・保存し、地域・全国・世界に発信する

本大学が北東北に立地している特性を活かし、地域の言語・文学・文化を理解、研究します。

北東北には、さまざまな方言がみられ、それぞれの地域に息づいています。また、すぐれた作家や文化人が世に出て、多くの作品が残されています。青森県では、太宰治、寺山修司をはじめ、葛西善蔵、秋田雨雀、岩手県では宮沢賢治、石川啄木、秋田県では狩野亨吉、内藤湖南などによってなされてきました。そして、民俗文化が豊かにあります。ねぷたや竿灯といった七夕の祭礼行事のほか、イタコの祭文といった口承文芸、神楽や獅子踊りといった民俗芸能などです。それらを記録したのが、菅江真澄、平尾魯仙といった人たちです。

このような地域の言語・文学・文化を対象にして、地域性と普遍性を追究します。また、狭い地域だけを対象にした過去の研究方法を反省し、笹森儀助が奄美・沖縄をフィールドにしたように異なる地域との比較を行いながら総合的に研究します。さらに、世界的な視野に立った明治時代のジャーナリストの陸羯南の研究を通して、文化政策の立案も試みます。

加えて、本学の地域総合文化研究所と連携し、他分野の研究者と共同して、学際的研究も行っていきます。

こうして北東北の言語・文学・文化を理解・研究し、これらを地域に、また全国に、そして世界に発信できる人材を育成します。

(2) 日本語・日本文学・日本文化を研究し、広い視野に立つ高度な専門的能力を養う

日本語・日本文学・日本文化研究がめざすのは、人間の営みを解明することです。

とくに日本語・日本文学研究では、ことばを通して人間精神の営みを探究します。そのためには、ことばに関する高度な専門的能力を有する必要があります。また、古代から現代までの日本語の正確な用

法に通じたうえで、『万葉集』や『源氏物語』をはじめ、上田秋成や夏目漱石などの文学作品を熟読する必要があります。
　こうして日本語・日本文学・日本文化を理解・研究し、これらを社会に還元できる人材を養成します。

(3) 社会人大学院生の受け入れ
　本研究科は、リカレント教育を標榜し、生涯学習の拠点となることも目指しています。そのために入学資格、就学方法などについても弾力的な配慮をしています。また、図書館の夜間開館を行い、学習のための便宜を図っています。

3　修士論文および学位

(1) 修士論文　　論文審査と面接試問による。

(2) 学　　位　　修士（文学）

4　教育職員免許状

中学校教諭、高等学校教諭の一種免許状を有する者は、本研究科において教育職員免許法及び同法施行規則に定める所定の単位を修得することにより、それぞれ相応する専修免許状を取得できます。

5　履修基準および授業科目

(1) 履修基準
日本文学専攻における履修基準（最低修得単位数）は、次の通りです。
①修士課程修了に要する合計単位数は 30 単位です。
②課題研究は、課題研究Ⅰ（1 年次、4 単位)、課題研究Ⅱ（2 年次、4 単位）となっています。いずれも必修科目です。

(2) 授業科目

■日本文学特論科目等(選択必修)　6 単位以上	
日本文学特論Ⅰ(古代文学)	2 単位
日本文学特論Ⅱ(中世文学)	2 単位
日本文学特論Ⅲ(近世文学)	2 単位
日本文学特論Ⅳ(近現代文学)	2 単位
日本語学特論(日本語学)	2 単位
日本文法特論(日本語学)	2 単位
民俗学特論	2 単位
民俗芸能特論	2 単位
■関連科目(選択必修)　4 単位以上	
漢文学特論(漢文学)	2 単位
伝承文学特論	2 単位
地域文学特論	2 単位
地域史特論	2 単位
地域メディア特論	2 単位
■日本文学演習科目等(選択必修)　6 単位以上	
日本文学演習Ⅰ(古代文学)	2 単位
日本文学演習Ⅱ(中世文学)	2 単位
日本文学演習Ⅲ(近世文学)	2 単位
日本文学演習Ⅳ(近現代文学)	2 単位
日本語学演習(日本語学)	2 単位
民俗芸能演習	2 単位
■課題研究科目(必修)　8 単位	
課題研究Ⅰ	4 単位
課題研究Ⅱ	4 単位

６　文学研究科授業科目の概要

授業科目名	単位数	授業科目等の概要	担当教員
日本文学特論Ⅰ （古代文学）	2	記・紀・風土記を精読し、倭建伝承と二皇子発見譚の真相を追求する。これらの伝承の基盤には、冬至前後に執り行う新嘗祭（稲の収穫祭）が大きくかかわっているらしいことを炙り出す。	教授 畠山　　篤
日本文学特論Ⅱ （中世文学）	2	本講義では、室町時代の演劇である「能楽」を取り上げる。能楽は、同時代やそれ以前の時代の様々な文学作品を縦横無尽に典拠・素材としているとともに、後代の文学や美術にも多大な影響を与えており、いわば日本文学史のエッセンスが詰まった総合芸術である。それゆえこの授業では、能楽を通して日本（特に中世）の文学史・文化史の諸相に触れてゆくこととする。	兼任講師 中野　顕正
日本文学特論Ⅲ （近世文学）	2	※2023年度開講せず	
日本文学特論Ⅳ （近現代文学）	2	夏目漱石の紀行文『満韓ところどころ』を講読する。この作品は、明治42年10月21日から12月30日まで、『朝日新聞』にかかげた紀行文である。当時、漱石がこの目で見た旧満州、および朝鮮の状況はどんなものであったか。この作品の中に、当時日本の統治下に置かれた旧満州、朝鮮の状況はリアルに伝えられている。貴重なリポートである。作品を通して漱石の考えおよび身体状況を知ることができる。	教授 顧　　偉良
日本語学特論 （日本語学）	2	現代日本語を例として、ことば・方言と社会の関係について考える。具体的な問題を主題として、ことばの運用面のテーマを考える。	教授 今村かほる
日本文法特論 （日本語学）	2	待遇表現研究 待遇表現としての敬語について、現代敬語の特徴と分類について知り、運用上の問題点とその対策について考える。	教授 今村かほる
民俗学特論	2	日本の年中行事や民俗芸能（盆踊りや神楽など）を信仰や習俗の側面からとらえ、庶民の生活文化を明らかにする。	兼任講師 下田　雄次
民俗芸能特論	2	民俗芸能に関する先行研究を取り上げ、民俗芸能研究の問題点を探る。調査・研究方法を学んだ上で受講者自らが口頭発表形式で発表を行い、レポートにまとめる。発表・レポートでは当該芸能の概要に加えて、類例との比較によるその芸能の位置づけや、授業で学んだ点を盛り込んだ各自の考察を行う。	兼任講師 下田　雄次
漢文学特論 （漢文学）	2	漢語の基礎知識と語法を広く学んだ後、日本で愛読された、訓点付きの注釈書を読んで、漢詩・漢文に対する理解を深める。	兼任講師 植木　久行
伝承文学特論	2	※2023年度開講せず	
地域文学特論	2	※2023年度開講せず	
地域史特論	2	テーマ:「地域」の視点に立って日本およびアジアの歴史の学習を行う 「地域」の視点から日本及びアジアの歴史を学ぶのに適した具体的なテーマを選択し、講義を主体に、教師側からの一方通行の授業でなく演習の要素も加えた「参加型」の授業を行います。重要な問題については、次回までの課題とすることもあります。なお、昨年は、「聖徳太子とその時代」をテーマとし、継体王朝の成立から飛鳥時代までの歴史の学習を行いました。	特任教授 齊藤　利男
地域メディア特論	2	情報が氾濫するネット社会において、情報の精査、整理、編集する力と、地域の特色を理解し、完成度が高く、グローバルな視野をもった魅力ある情報を発信する力を養う。また、多様化するメディアを理解し、出版、編集の基本を学び、幅広くメディアを担う人材の育成を図る。	兼任講師 玉田　　馨
日本文学演習Ⅰ （古代文学）	2	菅原道真が太宰謫居時代に詠んだ詩を編集した『菅家後集』を読む。栄華から没落に逆転した身の上を道真がどのように認識していたかを辿ってみる。この詩集が、後に天神に祭られることとどのようにかかわるかという視点で読んでみる。	教授 畠山　　篤
日本文学演習Ⅱ （中世文学）	2	※2023年度開講せず	
日本文学演習Ⅲ （近世文学）	2	テーマ：江戸文化と文学と言語表現 江戸文化爛熟の化政期に生まれた作品を読解・鑑賞しつつ、作品とそれを産み出す社会的背景を考察する。その具体的作品として、化政期の口語を反映する歌舞伎脚本『東海道四谷怪談』をとりあげ、その受容と影響の大きさを考える。	教授 藁科　勝之
日本文学演習Ⅳ （近現代文学）	2	《昭和期の文学》小説の方法という点で昭和期を代表する小説作品（「濹東綺譚」1937、「人間失格」1948、「豊穣の海」1965-1971）とそれに対する分厚い研究論文群を精読する。	教授 井上　諭一

授業科目名	単位数	授業科目等の概要	担当教員
日本語学演習 （日本語学）	2	［キーワード：ヴァーチャル方言、キャラ語、ドラマ方言］ テーマ：現代社会における方言の役割 従来の地域方言と地域を越えたヴァーチャル方言など、新種の方言の果たす役割について考える。	教授 今村かほる
民俗芸能演習	2	※2023年度開講せず	
課題研究Ⅰ	4	大学院学生各自が、自らの問題意識に基づいた研究課題を自主的に設定し、創造的な研究ができ、高度に能力が発揮できるように、個別指導を行う。	教授 藁科　勝之 今村かほる 顧　　偉良 畠山　　篤
課題研究Ⅱ	4	課題研究Ⅰの指導の上に立って、研究テーマを更に深め、広い人文的教養と高度の専門的知識を備えるように、個別指導を行う。また、学会などで口頭発表ができ、それに基づいて学会誌などに投稿できるような、独創的な修士学位論文の完成を目指した個別指導を行う。	教授 藁科　勝之 今村かほる 顧　　偉良 畠山　　篤

7　奨　学　金

本学で取り扱う主なものは次の通りです。それぞれ資格や条件、選考基準が定められていますので、詳しくは本学学生課（TEL 0172 － 34 － 5211）までお問い合わせ下さい。

●弘前学院大学学内奨学金（免除）

学業成績、人物、家庭状況などを考慮して選考します。

（定　　数）1名

（免　除　額）当該年度授業料の2分の1相当額

（応 募 資 格）本学大学院在学2年目以上の者

※年度により定数を変更することがあります。

●弘前学院学内奨学金（貸与）

学業成績、人物、家庭状況などを考慮して貸与されます。

（月　　額）　50，000円

●その他の奨学金

奨　学　金　名		貸与額	
●日本学生支援機構	第一種奨学金	月額	50，000円
			88，000円
	第二種奨学金 ※希望により右の貸与月額を選択できます。	月額	50，000円
			80，000円
			100，000円
			130，000円
			150，000円

文学研究科　日本文学専攻修士課程　＜ 一 般 入 試 ＞

◆募集人員等

専　攻　名：日本文学　　修 業 年 限：２年　　募 集 人 員：前期５名、後期２名

◆出願資格

（１）　大学を卒業した者および2024年３月卒業見込みの者
（２）　大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者および2024年３月までに授与される見込みの者
（３）　外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2024年３月までに修了見込みの者
（４）　外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者および2024年３月までに修了見込みの者
（５）　我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者および2024年３月までに修了見込みの者
（６）　外国の大学等において、修業年限が３年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者および2024年３月までに授与される見込みの者
（７）　指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者および2024年３月までに修了見込みの者
（８）　旧制学校等を修了した者
（９）　防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者および2024年３月までに修了見込みの者
（10）　大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、2024年３月末日までに22歳以上に達する者
（注）　上記（10）で出願しようとする者には、事前に受験資格についての審査を行うので、予め本学アドミッションセンターへ連絡し、出願資格認定審査申込書（本学所定用紙）、推薦書（本学所定様式）、最終学校の成績証明書、卒業証明書（卒業見込み証明書）を、出願期間の始まる２週間前までに提出すること。

◆入試日程

	前　　期	後　　期
出 願 期 間	2023年 9月13日(水) ～10月25日(水) 必着	2023年12月25日(月) ～ 2月 6日(火) 必着
試　験　日	2023年11月 4日(土) 午前 9時45分　会場：本学	2024年 2月16日(金) 午前 9時45分　会場：本学
合 格 発 表	2023年11月10日(金) 午前 9時	2024年 2月26日(月) 午前 9時
入学手続締切日	2023年11月24日(金)	2024年 3月 9日(土)

◆出願手続

志願者は出願書類を取り揃え、本要項に添付の出願用封筒を用いて、出願期間中に提出して下さい。
なお、郵送の場合は書留速達便として下さい。

出願書類
①　入学志願書（本学所定用紙）
②　健康診断書（本学所定用紙）　出願３ヶ月以内に医師が作成し厳封したもの ※2024年３月本学卒業見込みの者は提出不要です。
③　写真票（本学所定用紙）
④　受験票（本学所定用紙）　裏面に速達323円分の切手を貼り、宛名記入のこと
⑤　検定料納付書（本学所定用紙）
⑥　卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込み証明書
⑦　成績証明書
⑧　入学検定料　30,000円　郵送の場合は郵便為替にて同封のこと ただし、本学卒業（卒業見込み）者の入学検定料は15,000円 ※振込みではありませんのでご留意下さい。
⑨　卒業論文および研究報告書等があれば、その写し なお、作成していない場合は提出不要です。
⑩　志望理由書（本学所定用紙）
⑪　研究計画書（本学所定用紙）
⑫　出願資格認定審査申込書（本学所定用紙）※出願資格（10）に該当する場合のみ提出して下さい。
⑬　推薦書（本学所定用紙）※出願資格（10）に該当する場合のみ提出して下さい。

＜出願書類の提出先＞

〒036-8577　弘前市稔町13－1　　弘前学院大学アドミッションセンター

＜受付時間＞

平　日：午前９時～午後５時　　土曜日：午前９時～午後２時

◆出願上の注意事項

（１）　提出された卒業論文および研究報告書以外の出願書類、既納の入学検定料は返還しません。
（２）　身体に障がいがあり、受験する際に特別な配慮を必要とする場合、出願書類提出前に必ず本学アドミッションセンターに問い合わせて下さい。

文学研究科　日本文学専攻修士課程　＜ 社 会 人 入 試 ＞

◆社会人募集の主旨

弘前学院大学大学院文学研究科日本文学専攻修士課程では、一般入試とは別に、社会人を対象とした入学試験制度によって、次の要領で学生募集をします。

この社会人リカレント教育制度は、社会人・職業人に広く大学院の門戸を開くことによって、より深められた研鑽と生涯学習などの機会を提供すると共に、修士課程修了による資格取得を目的として実施するものです。

◆社会人大学院生に関する特例措置

社会人で、教育方法の特例措置を希望する者には、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特別措置を適用して、高等教育を受ける機会を拡大するため、特例措置を行うことにしています。これによって、在職しながら通学することが可能です。

◆募集人員等

専　攻　名：日本文学　　修 業 年 限：２年　　募 集 人 員：前期２名、後期１名

◆出願資格

（１）　大学院修了者（中退、退学者を含む）

（２）　一般入試の出願資格のいずれかに該当し、かつ、社会経験が１年以上ある者

（注）　一般入試の出願資格（10）で出願しようとする者には、事前に受験資格についての審査を行うので、予め本学アドミッションセンターへ連絡し、出願資格認定審査申込書（本学所定用紙）、推薦書（本学所定様式）、最終学校の成績証明書、卒業証明書（卒業見込み証明書）、その他の書類（最終学校卒業後の教育歴、研修・研究歴、職歴などを証明する書類）を、出願期間の始まる２週間前までに提出すること。

◆入試日程

	前　　期	後　　期
出 願 期 間	2023年 9月13日(水) ～10月25日(水) 必着	2023年12月25日(月) ～ 2月 6日(火) 必着
試　験　日	2023年11月 4日(土) 午前 9時45分　会場：本学	2024年 2月16日(金) 午前 9時45分　会場：本学
合 格 発 表	2023年11月10日(金) 午前 9時	2024年 2月26日(月) 午前 9時
入学手続締切日	2023年11月24日(金)	2024年 3月 9日(土)

◆出願手続

志願者は出願書類を取り揃え、本要項に添付の出願用封筒を用いて、出願期間中に提出して下さい。

なお、郵送の場合は書留速達便として下さい。

出願書類
①　入学志願書（本学所定用紙）
②　健康診断書（本学所定用紙）　出願３ヶ月以内に医師が作成し厳封したもの ※2024年３月本学卒業見込みの者は提出不要です。
③　写真票（本学所定用紙）
④　受験票（本学所定用紙）　裏面に速達323円分の切手を貼り、宛名記入のこと
⑤　検定料納付書（本学所定用紙）
⑥　卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込み証明書
⑦　成績証明書
⑧　入学検定料　30,000円　郵送の場合は郵便為替にて同封のこと ただし、本学卒業（卒業見込み）者の入学検定料は15,000円 ※振込みではありませんのでご留意下さい。
⑨　卒業論文、研究報告書、修士論文、博士論文および著書等があれば、その写し なお、作成していない場合は提出不要です。
⑩　志望理由書（本学所定用紙）
⑪　研究計画書（本学所定用紙）
⑫　出願資格認定審査申込書（本学所定用紙）※一般入試の出願資格（10）に該当する場合のみ提出して下さい。
⑬　推薦書（本学所定用紙）※一般入試の出願資格（10）に該当する場合のみ提出して下さい。
⑭　各種免許状（教諭等）があればその写し

＜出願書類の提出先＞

〒036-8577　弘前市稔町13－1　　弘前学院大学アドミッションセンター

＜受付時間＞

平　日：午前９時～午後５時　　土曜日：午前９時～午後２時

◆出願上の注意事項

（１）　提出された卒業論文および研究報告書以外の出願書類、既納の入学検定料は返還しません。

（２）　身体に障がいがあり、受験する際に特別な配慮を必要とする場合、出願書類提出前に必ず本学アドミッションセンターに問い合わせて下さい。

＜一般入試・社会人入試・共通事項＞

◆入学者選抜方法

入学者の選抜は、論文記述（専門科目）試験、口頭試問、出願書類審査および健康診断の結果を総合して行います。

◆試験時間及び試験科目

試験会場：本学

試験日程	8:45～	受　付
	9:30～	入室・説明
	9:45～11:45	論文記述（専門に関係した内容）
	11:45～12:30	昼食・休憩
	12:30～	口頭試問

◆受験上の注意事項

（１） 受験票を必ず持参して下さい。紛失あるいは忘れた場合は、試験会場入室前に申し出て下さい。
（２） 試験時間中は、必ず受験票を机上に置いて下さい。
（３） 受験者は試験開始15分前までに入室、着席して下さい。
（４） やむを得ない事情による遅刻は、試験開始後30分までは受験を認めます。
（５） 入学試験等に関する問い合わせは、本学アドミッションセンターへ連絡して下さい。（TEL：0172－34－5211）

◆合格発表

本学玄関正面掲示板に合格者の受験番号を掲示すると共に、本人宛に合格通知書を郵送します。
なお、電話による合否の問い合わせはしておりませんので、ご了承下さい。

◆入学手続

合格発表後、入学手続締切日までに次のものを本学総務課に提出・納入してください。
なお、納入金は事由の如何を問わず返還いたしません。
（１） 身元保証書（本学所定のもの）
（２） 入学金

◆学費一覧

	本学卒業（卒業見込み）者	本学以外からの入学者
入　学　金	50,000円	100,000円
授　業　料	820,000円	820,000円
施設設備費	100,000円	100,000円
初年度納入金	970,000円	1,020,000円

注（１）入学金は合格発表後、入学手続締切日までに納入することになります。
（２）本学卒業（卒業見込み）者には、入学金を半額免除します。
（３）校納金は入学後４月と10月に分けて納入することになります。
（４）後援会費、校友会費等は別途納入することになります。
（５）学費スライド制を適用することがあります。

◆入学辞退について

入学手続を完了し、諸納付金を納入後、３月31日までに入学を辞退する場合は、アドミッションセンターへ連絡して下さい。
入学辞退届（様式自由）に辞退理由を記入し、受験番号および本人の署名・捺印の上、提出して下さい。

◆入試についての問合せ先

入試について不明な点があれば、下記宛にお問い合わせ下さい。
〒036-8577　青森県弘前市稔町13－1　　弘前学院大学アドミッションセンター

◆個人情報の取り扱いについて

入試出願書類、資料請求等で本学が知り得た個人の情報及び入学試験結果等については、秘密を厳守し、本学での入試関連業務およびこれに付随する事項の範囲内でのみ使用します。

◆寄付金について

本学では、入学後「弘前学院施設設備充実資金寄付金」への寄付をお願いしております。教育・研究環境を更に充実させるために使われますので、任意ではございますがご協力をお願いいたします。

文学研究科　日本文学専攻修士課程　＜ 外国人留学生入試 ＞

◆募集人員等

専　攻　名：日本文学　　修 業 年 限：２年　　募 集 人 員：前期若干名、後期若干名

◆出願資格

日本国籍を有しない者で、次の資格を有し、かつ、要件を満たしていて、入学する年の３月31日までに22歳に達していることが必要です。

［資格］一般入試の出願資格のいずれかに該当している者

（注）一般入試の出願資格（10）「大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、2024年３月末日までに22歳以上に達する者」に該当することにより出願しようとする者には、事前に受験資格についての審査を行うので、予め本学アドミッションセンターへ連絡し、出願資格認定審査申込書（本学所定用紙）、推薦書（本学所定様式）、最終学校の成績証明書、卒業証明書（卒業見込み証明書）、その他の書類（最終学校卒業後の教育歴、研修・研究歴、職歴などを証明する書類）を、出願期間の始まる２週間前までに提出すること。

［要件］次のいずれか１つを提出してください。

（１）　財団法人日本国際教育支援協会（JEES）の「日本語能力試験」でＮ２以上の成績通知書の写し

（２）　独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の日本留学試験の「日本語」科目265点以上の成績通知書の写し

○大学院での講義は主として日本語で行われるため、受講に支障がない程度の日本語能力を要します。
○出願について不明な点がある場合は、出願締切日の１ヶ月前までにお問合せ下さい。

◆入試日程

	Ａ日程	Ｂ日程
出 願 期 間	2023年 9月13日(水) ～10月25日(水) 必着	2023年12月25日(月) ～ 2月 6日(火) 必着
試　験　日	2023年11月 4日(土) 午前 9時45分　会場：本学	2024年 2月16日(金) 午前 9時45分　会場：本学
合 格 発 表	2023年11月10日(金) 午前 9時	2024年 2月26日(月) 午前 9時
入学手続締切日	2023年11月24日(金)	2024年 3月 9日(土)

◆出願手続

志願者は出願書類を取り揃え、本要項に添付の出願用封筒を用いて、出願期間中に提出して下さい。
なお、郵送の場合は書留速達便として下さい。

出願書類	
①	入学志願書（本学所定用紙）
②	健康診断書（本学所定用紙）　出願３ヶ月以内に医師が作成し厳封したもの
③	写真票（本学所定用紙）
④	受験票（本学所定用紙）　裏面に速達323円分の切手を貼り、宛名記入のこと ※原則として、日本国内で確実に書類を受信できる住所を記入してください。
⑤	検定料納付書（本学所定用紙）
⑥	最終出身学校の卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書
⑦	最終出身学校の成績証明書
⑧	日本国内在住の志願者は、住民票［市区町村長の発行する住民票（国籍・在留資格・在留期間が明記されたもの)］および在留カードのコピー 海外からの志願者は、パスポートの写し（氏名・パスポートNo.・有効期間記載部分）
⑨	日本語能力試験または日本留学試験の成績通知書どちらか１つ（写し）
⑩	入学検定料　30,000円　郵送の場合は普通郵便為替を郵便局窓口で購入し、同封のこと ※振込みではありませんのでご留意下さい。
⑪	志望理由書（本学所定用紙）
⑫	研究計画書（本学所定用紙）
⑬	出願資格認定審査申込書（本学所定用紙）※一般入試の出願資格（10）に該当する場合のみ提出して下さい。
⑭	推薦書（本学所定用紙）※一般入試の出願資格（10）に該当する場合のみ提出して下さい。

＜出願書類の提出先＞

〒036-8577　弘前市稔町13－1　　弘前学院大学アドミッションセンター

＜受付時間＞

平　日：午前９時～午後５時　　土曜日：午前９時～午後２時

◆出願上の注意事項

（１）　本学所定用紙や出願用封筒は、全て日本語で記入してください。

（２）　出願の際は出願受付締切日までに到着するように十分ゆとりをもって提出してください。

（３）　提出された出願書類、既納の入学検定料は返還しません。

（４）　身体に障がいがあり、受験する際に特別な配慮を必要とする場合、出願書類提出前に必ず本学アドミッションセンターに問い合わせて下さい。

◆入学者選抜方法

入学者の選抜は、論文記述（専門科目）試験、口頭試問、出願書類審査および健康診断の結果を総合して行います。

◆試験時間及び試験科目

試験会場：本学

試験日程	8:45～	受　付
	9:30～	入室・説明
	9:45～11:45	論文記述（専門に関係した内容）
	11:45～12:30	休憩
	12:30～	口頭試問

◆受験上の注意事項

（１） 受験票を必ず持参して下さい。紛失あるいは忘れた場合は、試験会場入室前に申し出て下さい。
（２） 試験時間中は、必ず受験票を机上に置いて下さい。
（３） 受験者は試験開始15分前までに入室、着席して下さい。
（４） やむを得ない事情による遅刻は、試験開始後30分までは受験を認めます。
（５） 入学試験等に関する問い合わせは、本学アドミッションセンターへ連絡して下さい。（TEL：0172－34－5211）

◆合格発表

本学玄関正面掲示板に合格者の受験番号を掲示すると共に、本人宛に合格通知書を郵送します。
なお、電話による合否の問い合わせはしておりませんので、ご了承下さい。

◆入学手続

合格者に対して、本学から合格通知書とともに入学手続関係書類を送付します。合格者は、入学手続締切日までに入学金を納入し、かつ必要書類を提出して下さい。なお、入学手続時の納入金は返還していません。

＜注意＞

日本の在留資格を持っていない場合、または在留資格が「短期滞在」の場合、入国・在留関係の手続きに約１～２ヵ月必要となりますので、速やかに申請手続を行ってください。

◆学費一覧（単位：円）

		１年次	２年次
入学金（入学手続時）		50,000	0
学費	授業料	410,000	410,000
	施設設備費	0	50,000
諸会費		9,000	9,000
年額計		469,000	469,000

注（１）入学金は合格発表後、入学手続締切日までに納入することになります。
（２）校納金は入学後４月と10月に分けて納入することになります。

◆入学辞退について

入学手続を完了し、諸納付金を納入後、３月31日までに入学を辞退する場合は、アドミッションセンターへ連絡して下さい。

入学辞退届（様式自由）に辞退理由を記入し、受験番号および本人の署名・捺印の上、提出して下さい。

◆入試についての問合せ先

入試について不明な点があれば、下記宛にお問い合わせ下さい。

〒036-8577　青森県弘前市稔町13－1　　弘前学院大学アドミッションセンター

◆個人情報の取り扱いについて

入試出願書類、資料請求等で本学が知り得た個人の情報及び入学試験結果等については、秘密を厳守し、本学での入試関連業務およびこれに付随する事項の範囲内でのみ使用します。

◆寄付金について

本学では、入学後「弘前学院施設設備充実資金寄付金」への寄付をお願いしております。教育・研究環境を更に充実させるために使われますので、任意ではございますがご協力をお願いいたします。

社会福祉学研究科人間福祉専攻修士課程

1　社会福祉学研究科の三ポリシー

(1) アドミッションポリシー（Admission policy：入学者受け入れの方針）

社会福祉学研究科は、社会福祉学に関する基礎的知識（学部卒業程度）を有する者で、高度な専門的能力の修得を目指す者や、すでに社会福祉分野で職業人として活躍しながら更なる能力向上を目指す者などが、現代社会の社会福祉に関連する諸問題を解決するための研究力あるいは実践力を修得することに意欲を持っている人を受け入れます。

評価の方法については、論文記述（専門科目）試験、面接試験審査、出願書類審査および健康診断の結果により、総合的に評価します。

(2) カリキュラムポリシー（Curriculum policy：教育課程編成・実施の方針）

社会福祉学研究科の教育課程では、修士課程の教育目的を達成するため人間福祉特論科目で実践的な知識を獲得し、人間福祉実習科目において実践的経験を理論に統合化する教育を行います。さらに、人間福祉演習科目においては仮説・調査・検証の過程を展開する研究活動をとおして修士論文作成のための指導を受けます。

このように、学修と研究がスムーズに行えるようにカリキュラムを編成しています。

(3) ディプロマポリシー（Diploma policy：学位授与の方針）

社会福祉学研究科に在籍し、建学の精神である「畏神愛人」の精神にのっとり、所定の授業科目について30単位以上を修得します。そして、必要な研究指導を受け、本学研究科の目的に応じながら、幅広い視野に立ち、かつ深い学識をもって専攻分野における研究能力を身につけます。また、高度な専門性を必要とする職業で必要とされる能力を主体的に修得するように務めます。そして、修士論文を作成し審査に合格した者に対して修士（社会福祉学）の学位を授与します。

2　特色と概要

(1) 社会福祉学研究科人間福祉専攻

社会福祉制度・福祉行政のみならず、それらの受益者である福祉対象者・利用者のサイドから、鋭意福祉問題を把握し、個々の問題に着目して分析・考察を深め、解決方策を考究していこうとする。

わが国はこれまでにない少子・高齢化時代を迎え、そのための社会的対応が急がれているが、福祉、医療、保健、教育、心理、人権、社会保障などの諸領域を全体論的に捉える視座において、医療・保健福祉分野の研究や人間学を背景とするカウンセリング研究、ソーシャルワークの研究が求められている。本研究科においては従前の社会福祉研究の知見を踏まえて、心のケアの援助方策の研究、人間発達と子育て支援、障がい者、高齢者などの福祉サービスの政策論的研究に重点をおいて教育研究を進めていく。

(2) 授業科目の特色

特論科目、演習科目、実習科目に分かれる。いずれもがヒューマニズムの理念に基づき、人間に対する深い洞察を可能にする英知を培うことに役立つであろうと考え、そのために理論的研究と実践との統合を図りながら、特に実践的方法論としての社会福祉援助技術とスーパービジョンの方法の修得、児童・家族関係の理解と援助技術、さらに、心身障がい者や高齢者福祉についての実践的理論学習が可能である。

(3) 社会人大学院生の受け入れ

本研究科はリカレント教育を標榜し、積極的に社会人院生の受け入れをすすめ、生涯学習の拠点となることを目指している。そのため適宜に講義の夜間開講、図書館の夜間開館を行い、学習のための便宜を図るようにしている。また、入学資格、就労方法などについても可能な限りの配慮をしている。

(4) ティーチング・アシスタント

学部生のセミナー、実習等にアシスタントとして院生が参加し、学習支援する機会を設けている。

3　修士論文および学位

(1) 修士論文　　論文審査と口述試験による。
(2) 学　　位　　修士（社会福祉学）

4　履修基準および授業科目

(1) 履修基準

人間福祉専攻における履修基準（最低修得単位数）は、次の通りです。

授業科目	単位数
人間福祉特論科目	22単位
人間福祉演習科目	4単位
人間福祉実習科目	4単位
合　計	30単位

① 修士課程修了に要する合計単位数は 30 単位です。
② 特論科目は、開設科目単位数 30 単位の中から必修科目（キリスト教社会福祉特論）2 単位、選択科目 20 単位を履修できますが、別表の履修モデルを参考にして下さい。
③ 演習科目は、開設科目単位数の 16 単位の中から 4 単位の履修が必要です。
④ 実習科目は、福祉援助技術領域と福祉制度運営領域のうちのいずれかを選択して、4 単位履修します。

(2) 履修モデル

別表には、主に福祉援助技術領域、福祉制度運営領域、それに 2 つの領域にわたる科目履修モデルが例としてあげられています。これは、特論科目をどう選択するかの方法に関係しています。最低基準を満たすための一応の目安になるでしょう。

① 福祉援助技術領域履修モデル

人間福祉特論科目 （2 単位必修、20 単位選択必修）	人間福祉演習科目 （4 単位選択必修）	人間福祉実習科目 （4 単位必修）
キリスト教社会福祉特論(2)		
社会福祉原論研究(2)	人間福祉演習Ⅲ(4)	
社会科学研究法特論(2)		
福祉実践人間論特論(2)		福祉援助技術領域実習(4)
福祉援助技術特論Ⅰ(2)		
福祉援助技術特論Ⅱ(2)		
臨床心理学特論(2)	人間福祉演習Ⅱ(4)	
高齢者福祉心理学特論(2)		
福祉情報科学特論(2)		

② 福祉制度運営領域履修モデル

人間福祉特論科目 （2 単位必修、20 単位選択必修）	人間福祉演習科目 （4 単位選択必修）	人間福祉実習科目 （4 単位必修）
キリスト教社会福祉特論(2)		
社会福祉原論研究(2)		
社会科学研究法特論(2)	人間福祉演習Ⅳ(4)	
生涯福祉特論(2)	人間福祉演習Ⅰ(4)	福祉制度運営領域実習(4)
人間福祉教育特論(2)		
児童家庭福祉特論(2)		
福祉行政特論(2)		
社会福祉法制特論(2)		
福祉情報科学特論(2)		

③ 2 つの領域に亘る科目履修モデル

人間福祉特論科目 （2 単位必修、20 単位選択必修）	人間福祉演習科目 （4 単位選択必修）	人間福祉実習科目 （4 単位必修）
キリスト教社会福祉特論(2)		
社会福祉原論研究(2)		
社会科学研究法特論(2)		
福祉実践人間論特論(2)	人間福祉演習Ⅲ(4)	福祉援助技術領域実習(4)
生涯福祉特論(2)		福祉制度運営領域実習(4)
福祉援助技術特論Ⅰ(2)		
高齢者福祉心理学特論(2)	人間福祉演習Ⅱ(4)	
障害者福祉特論(2)		
福祉情報科学特論(2)		

５　社会福祉学研究科授業科目の概要

授業科目名	単位数	授業科目等の概要	担当教員
キリスト教社会福祉特論	2	※2023年度開講せず	
社会福祉原論研究	2	そもそも人間は、なぜ他人を助けるのか、ということについて論ずる。その際、これまでの歴史を辿り、客観的な事実を確認することから始める。	教授 松本　郁代
社会科学研究法特論	2	この授業では社会科学の特徴を原理的に考え、そのうえで社会科学の研究方法を学びます。社会科学の研究対象は人間に関わるため、意味の問題やそれについての解釈という問題から離れることができません。つまり社会現象を客観的に捉えることには困難さが伴っています。このような困難さを抱えつつ社会現象を理解することが、どのように可能であるかを考えていきます。	准教授 藤岡　真之
福祉実践人間論特論	2	〔キーワード：①福祉実践者の系譜 ②障害事例支援方法 ③人間行動の成り立ち ④共生社会〕 キーワードに関する具体的事例の中から、知識を整理し考察検討しながら学修、研究する。	兼任講師 菅井　邦明
生涯福祉特論	2	自閉症の子どもたちやアルツハイマー病の患者、PTSDにかかった人たちの情動を探ることにより、彼らの人格の変化、無関心、冷淡さのなかで起きていることを見つけようと試みる。	教授 石田　和男
福祉援助技術特論Ⅰ	2	1）ソーシャルワークの理論と実践の基本的枠組みについて学ぶ 2）ソーシャルワークの理論の活用と検証について学ぶ 3）ソーシャルワークの現場にみる経験値と理論の活用について学ぶ	教授 小川　幸裕
福祉援助技術特論Ⅱ	2	1）ソーシャルワークにおけるアドボカシーの歴史を学ぶ 2）ソーシャルワークにおけるアドボカシーの機能について学ぶ 3）ソーシャルワークアドボカシーの実践事例を学ぶ	教授 小川　幸裕
臨床心理学特論	2	臨床心理学の代表的な理論と方法について概観し、臨床心理学の目的、種々のアセスメント法、心理療法や実践場面について理解する。	特任教授 西沢　勝則
児童家庭福祉特論	2	※2023年度開講せず	
高齢者福祉心理学特論	2	高齢者学（Gerontology）と高齢者福祉心理学、高齢者福祉臨床における諸問題について概観し、その中からヘルシィエイジングにおけるもの忘れの病理に触れる。さらに認知症者の記憶病理について、主に神経心理学、記憶心理学のサイドから論考し、臨床的処遇についての具体的な事例についての分析をすすめる。記憶リハビリテーションの理論と方法について論じる。	兼任講師 工藤　　久
人間福祉教育特論	2	〔キーワード：「人間福祉教育学」の構想、「人間福祉教育」の確立〕 「人間福祉のための教育」は社会福祉の世界でも教育の世界でも重要な課題であるにも拘らず、これまで両世界は乖離していた。本特論ではその両世界を一つの世界に構築し直し、実り多い成果をあげるための方法の確立に取り組む。そのための前提は新しい「人間福祉教育学」を構想し、かつ体系づけることにある。本特論ではそのための資料を作成し、深く考察することになる。	教授 石田　和男
障害者福祉特論	2	障害者権利条約には障害者が「他の者との平等を基礎として」地域で当たり前に暮らしていけるよう諸施策を確保するべきと記載されている。日本では、2010年代に条約批准を目的として大きな制度改革が図られた。しかし、条約の精神と障害者の生活にはまだまだ距離があるといわざるを得ない。障害者の権利を踏まえ、障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会にするためにはどのような対策・対応が必要か追究する。	教授 葛西　久志
福祉行政特論	2	〔キーワード：公法学から見た福祉行政の諸問題〕 福祉行政に関わる諸問題を特に憲法と行政法の両面から展開する。社会福祉士国家試験問題を素材に、条文や制度の趣旨を明らかにし、それらがいかに重要かを学ぶ。	兼任講師 堀内　健志

授業科目名	単位数	授業科目等の概要	担当教員
社会福祉法制特論	2	〔キーワード：夫婦、親子、扶養、親族、相続、成年後見制度〕 民法典の第４編・親族、第５編・相続（家族法）を中心に、法律が我々の人生に、どのように結びついているのかを知る。さらには、超高齢化社会の到来、晩婚・未婚化による少子化の進行、生殖補助医療技術の進展による親子関係、姓、性の選択、等、民法制定時には想定していなかった問題について、民法（とくに家族法）は対応できているのか否かを検討し、近時の民法改正についても言及するものである。	兼任講師 安藤　清美
福祉情報科学特論	2	福祉分野における情報科学の現状および諸問題を研究し、新しい時代に出会う諸問題について考察できるようになる。	講師 齋藤　　昭
人間福祉演習Ⅰ	4	修士論文執筆にあたり、何のために何を明らかにしたいのかを、社会福祉の歴史的研究の領域で研究レヴューを行ないながら、論文テーマ設定を行う。	教授 松本　郁代
人間福祉演習Ⅱ	4	修士論文と関連のある文献資料の整備から始め、さらに文献講読をすすめる。先行研究の査読･検討から研究の構想を練り、研究仮説の設定と方法･手続きを決め、リサーチを展開し、修士論文作成のためのベースづくりをする。	教授 石田　和男
人間福祉演習Ⅲ	4	修士論文のテーマに関係する文献資料を収集し、文献講読･整理を進める。先行研究の分析･整理･検討から研究の構想を練り、研究仮説の設定と具体的な研究方法等を決め進めていく。修士論文作成のためのトリガーとする。	教授 葛西　久志
人間福祉演習Ⅳ	4	〔キーワード:先行研究の検討、仮説の設定、論文構成〕 本演習では、以下のプロセスを通じて論文の完成を目指す。 ･テーマ･仮説を設定する ･先行研究の読解と通してテーマ･仮説を再検討する ･データの解釈を通じて、仮説を検証する ･検証結果を基に論文を執筆する	准教授 藤岡　真之
福祉援助技術領域実習	4	福祉援助技術領域実習は利用者（高齢者、障害者等）の理解に始まり、制度理解、社会福祉全般の知識や援助技術など学んだことを活用する。実習後は、実習計画にあげた課題の成果をふりかえりながら総括しレポートを作成する。	教授 葛西　久志
福祉制度運営領域実習	4	社会福祉の制度を確認しながら、実際に社会福祉施設をはじめとする事業が、どのように運営されているのかを把握する。	教授 松本　郁代

６ 奨 学 金

本学で取り扱う主なものは次の通りです。それぞれ資格や条件、選考基準が定められていますので、詳しくは本学学生課（TEL 0172 － 34 － 5211）までお問い合わせ下さい。

●弘前学院大学学内奨学金（免除）

学業成績、人物、家庭状況などを考慮して選考します。

（定　　数）１ 名

（免　除　額）当該年度授業料の２分の１相当額

（応 募 資 格）本学大学院在学２年目以上の者

※年度により定数を変更することがあります。

●弘前学院学内奨学金（貸与）

学業成績、人物、家庭状況などを考慮して貸与されます。

（月　　額）　50，000円

●その他の奨学金

奨 学 金 名		貸与額	
●日本学生支援機構	第一種奨学金	月額	50，000円
			88，000円
	第二種奨学金 ※希望により右の貸与月額を選択できます。	月額	50，000円
			80，000円
			100，000円
			130，000円
			150，000円

社会福祉学研究科　人間福祉専攻修士課程　＜ 一 般 入 試 ＞

◆募集人員等

専　攻　名：人間福祉　　修 業 年 限：２年　　募 集 人 員：前期５名、後期２名

◆出願資格

（１）　大学を卒業した者および2024年３月卒業見込みの者
（２）　大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者および2024年３月までに授与される見込みの者
（３）　外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2024年３月までに修了見込みの者
（４）　外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者および2024年３月までに修了見込みの者
（５）　我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者および2024年３月までに修了見込みの者
（６）　外国の大学等において、修業年限が３年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者および2024年３月までに授与される見込みの者
（７）　指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）を修了した者および2024年３月までに修了見込みの者
（８）　旧制学校等を修了した者
（９）　防衛大学校、海上保安大学校、気象大学校など、各省大学校を修了した者および2024年３月までに終了見込みの者
（10）　大学に３年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本学大学院が認めた者
（11）　大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、2024年３月末日までに22歳以上に達する者
（注）　出願資格（10）又は（11）で出願しようとする者には、事前に受験資格についての審査を行うので、予め本学アドミッションセンターへ連絡し、出願資格認定審査申込書（本学所定用紙）、推薦書（本学所定様式）、最終学校の成績証明書、卒業証明書（卒業見込み証明書）を、出願期間の始まる２週間前までに提出すること。

◆入試日程

	前　　期	後　　期
出 願 期 間	2023年 9月13日(水) ～10月25日(水) 必着	2023年12月25日(月) ～ 2月 6日(火) 必着
試　験　日	2023年11月 4日(土) 午前 9時45分　会場：本学	2024年 2月16日(金) 午前 9時45分　会場：本学
合 格 発 表	2023年11月10日(金) 午前 9時	2024年 2月26日(月) 午前 9時
入学手続締切日	2023年11月24日(金)	2024年 3月 9日(土)

◆出願手続

志願者は出願書類を取り揃え、本要項に添付の出願用封筒を用いて、出願期間中に提出して下さい。
なお、郵送の場合は書留速達便として下さい。

出願書類
①　入学志願書（本学所定用紙）
②　健康診断書（本学所定用紙）　出願３ヶ月以内に医師が作成し厳封したもの ※2024年３月本学卒業見込みの者は提出不要です。
③　写真票（本学所定用紙）
④　受験票（本学所定用紙）　裏面に速達323円分の切手を貼り、宛名記入のこと
⑤　検定料納付書（本学所定用紙）
⑥　卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込み証明書
⑦　成績証明書
⑧　入学検定料　30,000円　郵送の場合は郵便為替にて同封のこと ただし、本学卒業（卒業見込み）者の入学検定料は15,000円 ※振込みではありませんのでご留意下さい。
⑨　卒業論文および研究報告書等があれば、その写し なお、作成していない場合は提出不要です。
⑩　志望理由書（本学所定用紙）
⑪　研究計画書（本学所定用紙）
⑫　出願資格認定審査申込書（本学所定用紙）※出願資格（10）、（11）に該当する場合のみ提出して下さい。
⑬　推薦書（本学所定用紙）※出願資格（10）、（11）に該当する場合のみ提出して下さい。

＜出願書類の提出先＞

〒036-8577　弘前市稔町13－1　　弘前学院大学アドミッションセンター

＜受付時間＞

平　日：午前９時～午後５時　　土曜日：午前９時～午後２時

◆出願上の注意事項

（１）　提出された卒業論文および研究報告書以外の出願書類、既納の入学検定料は返還しません。
（２）　身体に障がいがあり、受験する際に特別な配慮を必要とする場合、出願書類提出前に必ず本学アドミッションセンターに問い合わせて下さい。

社会福祉学研究科　人間福祉専攻修士課程　＜ 社 会 人 入 試 ＞

◆社会人募集の主旨

弘前学院大学大学院社会福祉学研究科人間福祉専攻修士課程では、一般入試とは別に、社会人を対象とした入学試験制度によって、次の要領で学生募集をします。

この社会人リカレント教育制度は、社会人・職業人に広く大学院の門戸を開くことによって、より深められた研鑽と生涯学習などの機会を提供すると共に、修士課程修了による資格取得を目的として実施するものです。

◆社会人大学院生に関する特例措置

現職実務従事者等で、教育方法の特例措置を希望する者には、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特別措置を適用して、高等教育を受ける機会を拡大するため、特例措置を行うことにしています。これによって、在職しながら通学することが可能です。

◆募集人員等

専　攻　名：人間福祉　　修 業 年 限：２年　　募 集 人 員：前期２名、後期１名

◆出願資格

（１）　大学院修了者（中退、退学者を含む）

（２）　一般入試の出願資格（１）～（９）のいずれかに該当し、かつ、社会経験が２年以上ある者

（３）　大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、福祉関連実務経験が３年以上ある者

（注）　出願資格（３）で出願しようとする者には、事前に受験資格についての審査を行うので、予め本学アドミッションセンターへ連絡し、出願資格認定審査申込書（本学所定用紙）、推薦書（本学所定様式）、最終学校の成績証明書、卒業証明書（卒業見込み証明書）、その他の書類（最終学校卒業後の教育歴、研修・研究歴、職歴などを証明する書類）を、出願期間の始まる２週間前までに提出すること。

◆入試日程

	前　　期	後　　期
出 願 期 間	2023年 9月13日(水) ～10月25日(水) 必着	2023年12月25日(月) ～ 2月 6日(火) 必着
試　験　日	2023年11月 4日(土) 午前 9時45分　会場：本学	2024年 2月16日(金) 午前 9時45分　会場：本学
合 格 発 表	2023年11月10日(金) 午前 9時	2024年 2月26日(月) 午前 9時
入学手続締切日	2023年11月24日(金)	2024年 3月 9日(土)

◆出願手続

志願者は出願書類を取り揃え、本要項に添付の出願用封筒を用いて、出願期間中に提出して下さい。

なお、郵送の場合は書留速達便として下さい。

出願書類
①　入学志願書（本学所定用紙）
②　健康診断書（本学所定用紙）　出願３ヶ月以内に医師が作成し厳封したもの ※2024年３月本学卒業見込みの者は提出不要です。
③　写真票（本学所定用紙）
④　受験票（本学所定用紙）　裏面に速達323円分の切手を貼り、宛名記入のこと
⑤　検定料納付書（本学所定用紙）
⑥　卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込み証明書
⑦　成績証明書
⑧　入学検定料　30,000円　郵送の場合は郵便為替にて同封のこと ただし、本学卒業（卒業見込み）者の入学検定料は15,000円 ※振込みではありませんのでご留意下さい。
⑨　卒業論文、研究報告書、修士論文、博士論文および著書等があれば、その写し なお、作成していない場合は提出不要です。
⑩　志望理由書（本学所定用紙）
⑪　研究計画書（本学所定用紙）
⑫　出願資格認定審査申込書（本学所定用紙）※出願資格（３）に該当する場合のみ提出して下さい。
⑬　推薦書（本学所定用紙）※出願資格（３）に該当する場合のみ提出して下さい。
⑭　実践活動記録および実践報告書の原本または写し
⑮　各種免許状（社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、看護師、保育士、教諭、会計士等）があればその写し

＜出願書類の提出先＞

〒036-8577　弘前市稔町13－1　　弘前学院大学アドミッションセンター

＜受付時間＞

平　日：午前９時～午後５時　　土曜日：午前９時～午後２時

◆出願上の注意事項

（１）　提出された卒業論文および研究報告書以外の出願書類、既納の入学検定料は返還しません。

（２）　身体に障がいがあり、受験する際に特別な配慮を必要とする場合、出願書類提出前に必ず本学アドミッションセンターに問い合わせて下さい。

＜一般入試・社会人入試・共通事項＞

◆入学者選抜方法

入学者の選抜は、論文記述（専門科目）試験、面接試験、出願書類審査および健康診断の結果を総合して行います。

◆試験時間及び試験科目

試験会場：本学

試験日程	8:45～	受　付
	9:30～	入室・説明
	9:45～11:45	論文記述（社会福祉に関係した内容）
	11:45～12:30	昼食・休憩
	12:30～	面　接

◆受験上の注意事項

（１） 受験票を必ず持参して下さい。紛失あるいは忘れた場合は、試験会場入室前に申し出て下さい。
（２） 試験時間中は、必ず受験票を机上に置いて下さい。
（３） 受験者は試験開始15分前までに入室、着席して下さい。
（４） やむを得ない事情による遅刻は、試験開始後30分までは受験を認めます。
（５） 入学試験等に関する問い合わせは、本学アドミッションセンターへ連絡して下さい。（TEL：0172－34－5211）

◆合格発表

本学玄関正面掲示板に合格者の受験番号を掲示すると共に、本人宛に合格通知書を郵送します。
なお、電話による合否の問い合わせはしておりませんので、ご了承下さい。

◆入学手続

合格発表後、入学手続締切日までに次のものを本学総務課に提出・納入してください。
なお、納入金は事由の如何を問わず返還いたしません。
（１） 身元保証書（本学所定のもの）
（２） 入学金

◆学費一覧

	本学卒業（卒業見込み）者	本学以外からの入学者
入　学　金	50,000円	100,000円
授　業　料	820,000円	820,000円
施設設備費	100,000円	100,000円
初年度納入金	970,000円	1,020,000円

注（１）入学金は合格発表後、入学手続締切日までに納入することになります。
（２）本学卒業（卒業見込み）者には、入学金を半額免除します。
（３）校納金は入学後４月と10月に分けて納入することになります。
（４）後援会費、校友会費等は別途納入することになります。
（５）学費スライド制を適用することがあります。

◆入学辞退について

入学手続を完了し、諸納付金を納入後、３月31日までに入学を辞退する場合は、アドミッションセンターへ連絡して下さい。
入学辞退届（様式自由）に辞退理由を記入し、受験番号および本人の署名・捺印の上、提出して下さい。

◆入試についての問合せ先

入試について不明な点があれば、下記宛にお問い合わせ下さい。
〒036-8577　青森県弘前市稔町13－1　　弘前学院大学アドミッションセンター

◆個人情報の取り扱いについて

入試出願書類、資料請求等で本学が知り得た個人の情報及び入学試験結果等については、秘密を厳守し、本学での入試関連業務およびこれに付随する事項の範囲内でのみ使用します。

◆寄付金について

本学では、入学後「弘前学院施設設備充実資金寄付金」への寄付をお願いしております。教育・研究環境を更に充実させるために使われますので、任意ではございますがご協力をお願いいたします。

社会福祉学研究科　人間福祉専攻修士課程　＜外国人留学生入試＞

◆募集人員等

専　攻　名：人間福祉　　修 業 年 限：２年　　募 集 人 員：前期若干名、後期若干名

◆出願資格

日本国籍を有しない者で、次の資格を有し、かつ、要件を満たしていて、入学する年の３月31日までに22歳に達していることが必要です。

［資格］一般入試の出願資格のいずれかに該当している者

（注）一般入試の出願資格（11）「大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、2024年３月末日までに22歳以上に達する者」に該当することにより出願しようとする者には、事前に受験資格についての審査を行うので、予め本学アドミッションセンターへ連絡し、出願資格認定審査申込書（本学所定用紙）、推薦書（本学所定様式）、最終学校の成績証明書、卒業証明書（卒業見込み証明書）、その他の書類（最終学校卒業後の教育歴、研修・研究歴、職歴などを証明する書類）を、出願期間の始まる２週間前までに提出すること。

［要件］次のいずれか１つを提出してください。

（１）　財団法人日本国際教育支援協会（JEES）の「日本語能力試験」でＮ２以上の成績通知書の写し

（２）　独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の日本留学試験の「日本語」科目265点以上の成績通知書の写し

○大学院での講義は主として日本語で行われるため、受講に支障がない程度の日本語能力を要します。
○出願について不明な点がある場合は、出願締切日の１ヶ月前までにお問合せ下さい。

◆入試日程

	Ａ日程	Ｂ日程
出 願 期 間	2023年 9月13日(水) ～10月25日(水) 必着	2023年12月25日(月) ～ 2月 6日(火) 必着
試　験　日	2023年11月 4日(土) 午前 9時45分　会場：本学	2024年 2月16日(金) 午前 9時45分　会場：本学
合 格 発 表	2023年11月10日(金) 午前 9時	2024年 2月26日(月) 午前 9時
入学手続締切日	2023年11月24日(金)	2024年 3月 9日(土)

◆出願手続

志願者は出願書類を取り揃え、本要項に添付の出願用封筒を用いて、出願期間中に提出して下さい。
なお、郵送の場合は書留速達便として下さい。

出願書類	
①	入学志願書（本学所定用紙）
②	健康診断書（本学所定用紙）　出願３ヶ月以内に医師が作成し厳封したもの
③	写真票（本学所定用紙）
④	受験票（本学所定用紙）　裏面に速達323円分の切手を貼り、宛名記入のこと ※原則として、日本国内で確実に書類を受信できる住所を記入してください。
⑤	検定料納付書（本学所定用紙）
⑥	最終出身学校の卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書
⑦	最終出身学校の成績証明書
⑧	日本国内在住の志願者は、住民票［市区町村長の発行する住民票（国籍・在留資格・在留期間が明記されたもの)］および在留カードのコピー 海外からの志願者は、パスポートの写し（氏名・パスポートNo.・有効期間記載部分）
⑨	日本語能力試験または日本留学試験の成績通知書どちらか１つ（写し）
⑩	入学検定料　30,000円　郵送の場合は普通郵便為替を郵便局窓口で購入し、同封のこと ※振込みではありませんのでご留意下さい。
⑪	志望理由書（本学所定用紙）
⑫	研究計画書（本学所定用紙）
⑬	出願資格認定審査申込書（本学所定用紙）※一般入試の出願資格（11）に該当する場合のみ提出して下さい。
⑭	推薦書（本学所定用紙）※一般入試の出願資格（11）に該当する場合のみ提出して下さい。

＜出願書類の提出先＞

〒036-8577　弘前市稔町13－1　　弘前学院大学アドミッションセンター

＜受付時間＞

平　日：午前９時～午後５時　　土曜日：午前９時～午後２時

◆出願上の注意事項

（１）　本学所定用紙や出願用封筒は、全て日本語で記入してください。

（２）　出願の際は出願受付締切日までに到着するように十分ゆとりをもって提出してください。

（３）　提出された出願書類、既納の入学検定料は返還しません。

（４）　身体に障がいがあり、受験する際に特別な配慮を必要とする場合、出願書類提出前に必ず本学アドミッションセンターに問い合わせて下さい。

◆入学者選抜方法

入学者の選抜は 、論文記述（専門科目）試験 、口頭試問、出願書類審査および健康診断の結果を総合して行います。

◆試験時間及び試験科目

試験会場：本学

試験日程	8:45～	受　付
	9:30～	入室・説明
	9:45～11:45	論文記述（社会福祉に関係した内容）
	11:45～12:30	昼食・休憩
	12:30～	面接試験

◆受験上の注意事項

（１） 受験票を必ず持参して下さい。紛失あるいは忘れた場合は、試験会場入室前に申し出て下さい。
（２） 試験時間中は、必ず受験票を机上に置いて下さい。
（３） 受験者は試験開始15分前までに入室、着席して下さい。
（４） やむを得ない事情による遅刻は、試験開始後30分までは受験を認めます。
（５） 入学試験等に関する問い合わせは、本学アドミッションセンターへ連絡して下さい。（TEL：0172－34－5211）

◆合格発表

本学玄関正面掲示板に合格者の受験番号を掲示すると共に、本人宛に合格通知書を郵送します。
なお、電話による合否の問い合わせはしておりませんので、ご了承下さい。

◆入学手続

合格者に対して、本学から合格通知書とともに入学手続関係書類を送付します。合格者は、入学手続締切日までに入学金を納入し、かつ必要書類を提出して下さい。なお、入学手続時の納入金は返還していません。

＜注意＞

日本の在留資格を持っていない場合、または在留資格が「短期滞在」の場合、入国・在留関係の手続きに約１～２ヵ月必要となりますので、速やかに申請手続を行ってください。

◆学費一覧（単位：円）

		１年次	２年次
入学金（入学手続時）		50,000	0
学費	授業料	410,000	410,000
	施設設備費	0	50,000
諸会費		9,000	9,000
年額計		469,000	469,000

注（１）入学金は合格発表後、入学手続締切日までに納入することになります。
（２）校納金は入学後４月と10月に分けて納入することになります。

◆入学辞退について

入学手続を完了し、諸納付金を納入後、３月31日までに入学を辞退する場合は、アドミッションセンターへ連絡して下さい。

入学辞退届（様式自由）に辞退理由を記入し、受験番号および本人の署名・捺印の上、提出して下さい。

◆入試についての問合せ先

入試について不明な点があれば、下記宛にお問い合わせ下さい。

〒036-8577　青森県弘前市稔町13－1　　弘前学院大学アドミッションセンター

◆個人情報の取り扱いについて

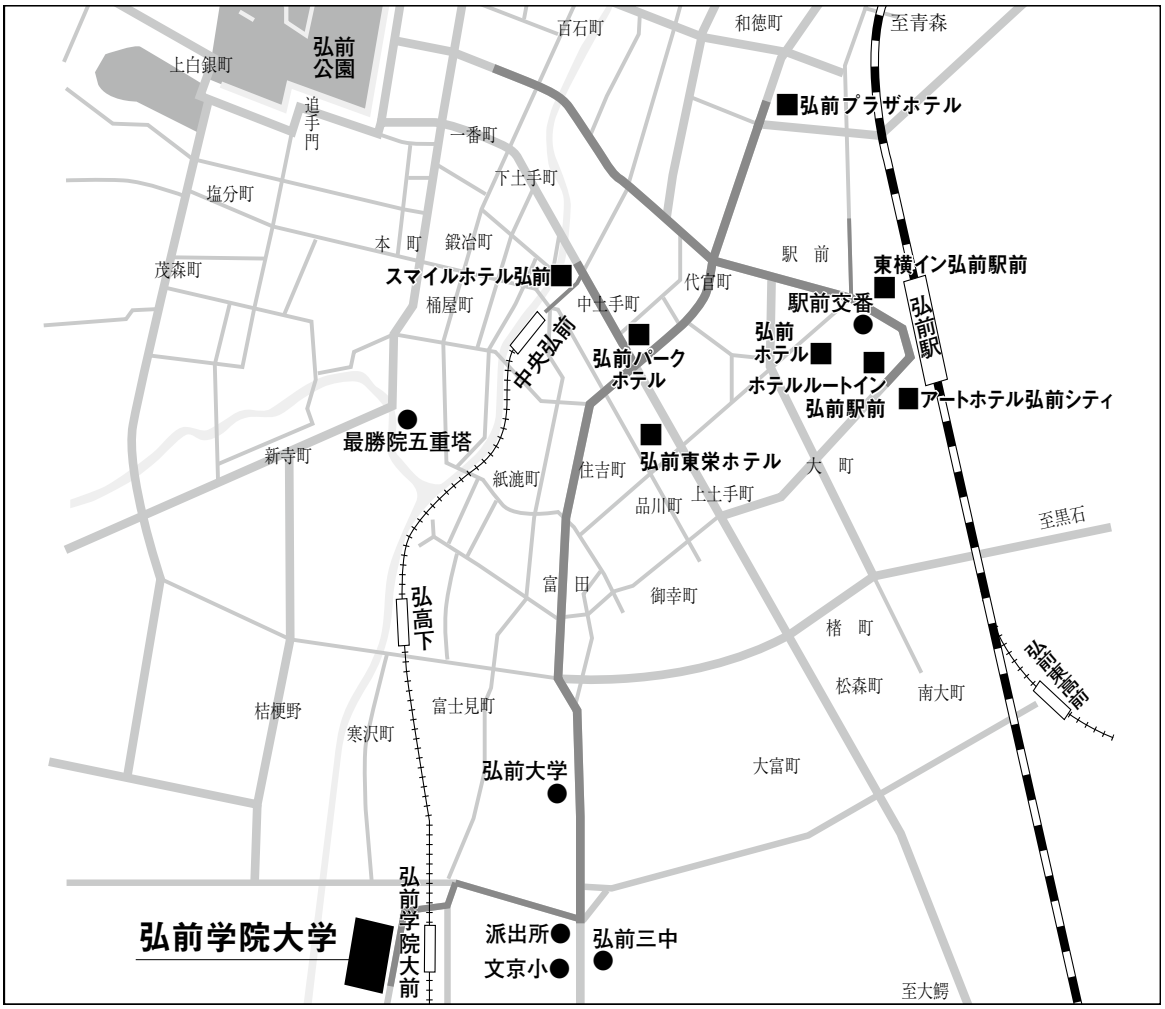
入試出願書類、資料請求等で本学が知り得た個人の情報及び入学試験結果等については、秘密を厳守し、本学での入試関連業務およびこれに付随する事項の範囲内でのみ使用します。

◆寄付金について

本学では、入学後「弘前学院施設設備充実資金寄付金」への寄付をお願いしております。教育・研究環境を更に充実させるために使われますので、任意ではございますがご協力をお願いいたします。

大学案内図

弘前学院大学　〒036-8577青森県弘前市稔町13番地1　TEL：0172-34-5211　FAX：0172-32-9302
アクセス方法：JR弘前駅中央口から小栗山、狼森行きバスに乗車12分、「三中校前」下車、徒歩８分
弘南鉄道（大鰐線）中央弘前駅より乗車、「弘前学院大前」駅下車、徒歩４分



受験の際の宿泊施設については、大学は斡旋しておりませんので、直接各ホテルにお問い合わせ下さい。

ホテル名	電話番号	ホテル住所（交通）	ホテルから大学までの交通
アートホテル弘前シティ	0172-37-0700	〒036-8004 弘前市大町1-1-2 （JR弘前駅より徒歩1分）	・ＪＲ弘前駅中央口から小栗山、狼森行きバス乗車、三中校前下車徒歩8分 ・タクシー10分
東横イン弘前駅前	0172-31-2045	〒036-8002 弘前市駅前1-1-1 （JR弘前駅より徒歩1分）	〃
ホテルルートイン弘前駅前	0172-31-0010	〒036-8003 弘前市駅前町5-1 （JR弘前駅より徒歩3分）	〃
弘前ホテル	0172-55-0388	〒036-8003 弘前市駅前町14-2 （JR弘前駅より徒歩3分）	〃
弘前東栄ホテル	0172-33-8111	〒036-8182 弘前市土手町166 （JR弘前駅より徒歩7分）	・弘南鉄道（大鰐線）中央弘前駅より乗車、弘前学院大前駅下車徒歩4分 ・タクシー15分
弘前パークホテル	0172-31-0089	〒036-8182 弘前市土手町126 （JR弘前駅より徒歩10分）	〃
弘前プラザホテル	0172-35-0345	〒036-8001 弘前市代官町101-1 （JR弘前駅より徒歩10分）	・ＪＲ弘前駅中央口から小栗山、狼森行きバス乗車、三中校前下車徒歩8分 ・タクシー10分
スマイルホテル弘前	0172-37-5550	〒036-8182 弘前市土手町73-2 （JR弘前駅より徒歩15分）	・弘南鉄道（大鰐線）中央弘前駅より乗車、弘前学院大前駅下車徒歩4分 ・タクシー10分

出願書類提出の注意事項一覧

出類書願	摘　　要	文学研究科			社会福祉学研究科		
		一般	社会人	外国人留学生	一般	社会人	外国人留学生
入学志願書	必要事項を記入する(本学所定用紙)。	○	○	○	○	○	○
健康診断書	医師が作成した健康診断書(本学所定用紙)。 在学中の志願者は、大学で発行する診断書でも可。本学卒業見込み者は提出不要。	○	○	○	○	○	○
写真票	必要事項を記入する(本学所定用紙)。 縦4cm×横3cmの写真(正面上半身脱帽、3ヵ月以内に撮影したもの)	○	○	○	○	○	○
受験票	必要事項を記入する(本学所定用紙)。	○	○	○	○	○	○
検定料納付書	必要事項を記入する(本学所定用紙)。	○	○	○	○	○	○
卒業（修了）証明書 卒業(修了)見込み証明書	出願資格に該当する出身大学の学長が作成したもの。 外国人留学生入試の志願者は、最終出身学校のもの。	○	○	○	○	○	○
成績証明書	出願資格に該当する出身大学の学長が作成したもの。 外国人留学生入試の志願者は、最終出身学校のもの。	○	○	○	○	○	○
入学検定料	郵送の場合は、郵便局窓口にて普通郵便為替を購入し、出願書類に同封のこと。 検定料は振込ではありませんのでご留意下さい。	○	○	○	○	○	○
卒業論文および研究報告書等	卒業論文および研究報告書(社会人入試志願者は修士論文、博士論文、著書等も含む)があれば、その写し。	○	○		○	○	
志望理由書	志望の動機、修了後の進路志望を記入する。	○	○	○	○	○	○
研究計画書	入学後の研究目標と抱負、研究構想などを2,000字程度にまとめる。	○	○	○	○	○	○
実践活動記録および実践報告書	実践活動記録および実践報告書の写し。					○	
各種免許状	教諭、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、看護師、保育士、会計士などの免許状があれば、その写し。		○			○	
出願資格認定審査申込書	本学所定用紙で作成。	△	△	△	△	△	△
推薦書	本学所定用紙で作成。	△	△	△	△	△	△
住民票[市区町村長の発行する住民票(国籍・在留資格・在留期間が明記されたもの)]および在留カードのコピー	日本国内在住の場合に提出する。			○			○
パスポートの写し	海外在住の場合(氏名・パスポートNo.・有効期間記載部分)に提出する。			○			○
日本語能力試験または日本留学試験の成績通知書（写し）	どちらか１つを提出する。			○			○

△は、文学研究科の一般入試出願資格（10）と、社会福祉学研究科の一般入試出願資格（10）および（11）、社会人入試出願資格（３）により出願する者のみ提出します。

一般入試用

2024年度　弘前学院大学大学院入学志願書

	文　学　研　究　科　　日本文学専攻修士課程	※受験番号
	社会福祉学研究科　　人間福祉専攻修士課程	

(フリガナ) 氏　　名 年　　月　　日生（満　　歳）	性　別 男　・　女

出身大学

大　学　　学部

学科　　年　　月　卒業・卒業見込

大学院　　研究科

専攻　　年　　月　修了・修了見込

現　住　所　　〒

電話番号

保　証　人　(フリガナ)

氏　　名　　続柄

現　住　所　　〒

電話番号

１．志望研究科に○印を付けてください。
２．※印欄は記入しないこと。
３．裏面は必ず記入すること。

学歴	年　　月	高等学校卒業
	年　　月	入　　学
	年　　月	卒業・卒業見込
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	

社会人入試用

2024年度　弘前学院大学大学院入学志願書

	文　学　研　究　科　　日本文学専攻修士課程	※受験番号
	社会福祉学研究科　　人間福祉専攻修士課程	

(フリガナ) 氏　　名 年　　月　　日生（満　　歳）	性　別 男　・　女

出身大学

大　学　　学部

学科　　年　　月　卒業・卒業見込

大学院　　研究科

専攻　　年　　月　修了・修了見込

現　住　所　　〒

電話番号

勤　務　先

勤務先住所　　〒

電話番号

保　証　人　　(フリガナ)

氏　　名　　続柄

現　住　所　　〒

電話番号

1．志望研究科に○印を付けてください。
2．※印欄は記入しないこと。
3．裏面は必ず記入すること。

学歴	年　　月	高等学校卒業
	年　　月	入　　学
	年　　月	卒業・卒業見込
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
職歴	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	

外国人留学生入試用

2024年度　弘前学院大学大学院入学志願書

	文　学　研　究　科　　日本文学専攻修士課程	※受験番号
	社会福祉学研究科　　人間福祉専攻修士課程	

（フリガナ） 氏　　名 英字氏名	生　年　月　日 年　　月　　日生	性　別 男　・　女

日本における住所	〒 電　話　番　号： 携帯電話番号：		
本国における住所	〒 電　話　番　号： 携帯電話番号：		
国　籍		母国語	
在留資格	１．なし　　２．留学　　３．その他（　　）		
在留期限	年　　月　　日		
外国人登録証明書番号	Ｂ第		

日本における連絡先・・・本人に連絡のとれないとき、本人に代わって連絡のとれる人物（親戚又は知人等）

フリガナ 氏　　名　　（男　・　女）	年齢		続柄	
住　　所	〒 電　話　番　号： 携帯電話番号：			
勤務先住所	〒			
職　　業		勤務先電話番号		

●どちらか提出できるものに〇印を付けてください。

＊どちらか一つに〇印を付けてください。	受験年月日
１．日本語能力試験（JEES）	
２．日本留学試験（JASSO）	

学　　歴　（16年の学校教育課程を記入してください。小中高大すべてを記入のこと）

学　　歴	小学校	年　　月　　入学
		年　　月　　卒業 転出
	学校	年　　入学 転入
		年　　卒業 転出
	学校	年　　入学 転入
		年　　卒業 転出
	学校	年　　入学 転入
		年　　卒業 転出
	学校	年　　入学 転入
		年　　卒業 転出
		年　　入学 転入
		年　　卒業 転出
		年　　入学 転入
		年　　卒業 転出

日本語学習経歴（最近のものから順に記入してください）

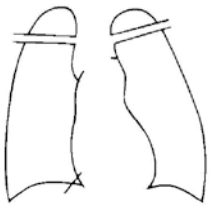
学校名	所在地	期　間
		年　　月　～　　年　　月 （ 年数　　年　　ヵ月 ）
		年　　月　～　　年　　月 （ 年数　　年　　ヵ月 ）
		年　　月　～　　年　　月 （ 年数　　年　　ヵ月 ）

職　　歴

勤務先名	所在地	期　間
		年　　月　～　　年　　月 （ 年数　　年　　ヵ月 ）
		年　　月　～　　年　　月 （ 年数　　年　　ヵ月 ）
		年　　月　～　　年　　月 （ 年数　　年　　ヵ月 ）

入学志願者健康診断書（弘前学院大学大学院用）

ふりがな		性別	受験番号	※
氏　　名		男・女		
生年月日	年　月　日生			
現住所	〒			

診断事項				
視　力　右．（　．　），左．（　．　）			主な現在症	有・無（入学後の健康管理上注意すべき疾病の内容）
区分	エックス線像		区　分	所見の有無
直接			運　動	有・無
			視　覚	有・無
			聴　覚	有・無
			言　語	有・無
間接	撮影　年　月　日 フィルム　No.		その他	有・無
			所見がある場合の具体的内容・程度	
所見	健康・要観察・要治療			
			その他特記事項	
検　尿	蛋白　糖　潜血　ウロ （　）（　）（　）（　）			

診断の結果、上記のとおり相違ないことを証明する。　　年　月　日

住所（所在地）

医療機関名

医師の氏名　　㊞

（注）太枠内は志願者本人が記入すること。

※印欄は記入しないでください。

記入上の注意

1．視力については、(　)内は矯正したものを記入してください。
2．エックス線検査の欄は、出願日前３ヵ月以内に撮影したフィルムに基づき、所見がある場合は記入してください。
3．検尿の欄は、新鮮尿でのテープ診断で結構です。
4．運動、視覚、聴覚について、所見がある場合は記入してください。
5．主な現在症の欄は、該当事項を〇で囲み、現在症がある場合はその内容を記入してください。
6．その他特記事項の欄は、内科疾患、運動障害および精神障害で治療を要すると認められるもの、またはとくに注意を要するものと認められるものを記入してください。
7．検査方法は、学校保健法施行規則に定めるところによってください。

弘　前　学　院　大　学　大　学　院

志　望　理　由　書

	文　学　研　究　科	日本文学専攻修士課程
	社会福祉学研究科	人間福祉専攻修士課程

（志望研究科に○印を付けてください。）

※受験番号　　氏名

（※印欄は記入しないでください。）

１．本学研究科を志望した動機又は理由

２．本学研究科修了後の進路志望など

弘　前　学　院　大　学　大　学　院

研　　究　　計　　画　　書

	文　学　研　究　科　　日本文学専攻修士課程
	社会福祉学研究科　　人間福祉専攻修士課程

（志望研究科に○印を付けてください。）

※受験番号　　氏名

（※印欄は記入しないでください。）

以下の欄に、入学後の研究目標と、抱負、研究構想などを2,000字程度に、簡潔にまとめてください。なお、パソコン等で作成も可。

500

1,000

1,500

2,000

弘前学院大学大学院　文学研究科

２０２４年度　弘前学院大学大学院

写　真　票

※受験番号	
フリガナ 氏　名	男・女
文学研究科　日本文学専攻修士課程 1　一般入試 2　社会人入試	
写真貼付 タテ４ｃｍ × ヨコ３ｃｍ	
（注） 受験する入試の番号に〇を付けて下さい。 ※印欄は記入しないで下さい。	

きりはなさないこと

２０２４年度　弘前学院大学大学院

受　験　票

※受験番号		
フリガナ 氏　名		男・女
文学研究科　日本文学専攻修士課程 1　一般入試 2　社会人入試		
入試日程	前　期：2023年11月 4日（土） 後　期：2024年 2月16日（金） 受　付　8：45～ 入室・説明　9：30～ 論文記述　9：45～ 口頭試問　12：30～	
試験会場	弘前学院大学	
（注） 1 受験する入試の番号に〇を付けて下さい。 2 ※印欄は記入しないで下さい。 3 受験票は試験会場に持参し、机上に置いて下さい。		検定料30,000円 受領印

きりはなさないこと

２０２４年度　弘前学院大学大学院

検定料納付書

※受験番号	
フリガナ 氏　名	男・女
文学研究科　日本文学専攻修士課程 1　一般入試 2　社会人入試	
年　月　日 検定料30,000円を納付いたします。	
受領印	
（注） 受験する入試の番号に〇を付けて下さい。 ※印欄は記入しないで下さい。	

きりはなさないこと

速　達

323円分の
切手を
はること

□□□-□□□□

様

学校法人　弘前学院

弘前学院大学

アドミッションセンター

〒036-8577　弘前市稔町13－1　　TEL　0172-34-5211㈹

弘前学院大学大学院　社会福祉学研究科

２０２４年度　弘前学院大学大学院

写　真　票

※受験番号	
フリガナ 氏　名	男・女
社会福祉学研究科　人間福祉専攻修士課程 1　一般入試 2　社会人入試	
写真貼付 タテ４ｃｍ × ヨコ３ｃｍ	
（注） 受験する入試の番号に〇を付けて下さい。 ※印欄は記入しないで下さい。	

きりはなさないこと

２０２４年度　弘前学院大学大学院

受　験　票

※受験番号		
フリガナ 氏　名		男・女
社会福祉学研究科　人間福祉専攻修士課程 1　一般入試 2　社会人入試		
入試日程	前　期：2023年11月 4日（土） 後　期：2024年 2月16日（金） 受　付　8：45～ 入室・説明　9：30～ 論文記述　9：45～ 面　接　12：30～	
試験会場	弘前学院大学	
（注） 1 受験する入試の番号に〇を付けて下さい。 2 ※印欄は記入しないで下さい。 3 受験票は試験会場に持参し、机上に置いて下さい。		検定料30,000円 受領印

きりはなさないこと

２０２４年度　弘前学院大学大学院

検定料納付書

※受験番号	
フリガナ 氏　名	男・女
社会福祉学研究科　人間福祉専攻修士課程 1　一般入試 2　社会人入試	
年　月　日 検定料30,000円を納付いたします。	
受領印	
（注） 受験する入試の番号に〇を付けて下さい。 ※印欄は記入しないで下さい。	

きりはなさないこと

速　達

323円分の
切手を
はること

□□□-□□□□

様

学校法人　弘前学院

弘前学院大学

アドミッションセンター

〒036-8577　弘前市稔町13－1　　TEL　0172-34-5211㈹

弘前学院大学大学院　文学研究科・社会福祉学研究科共通〈外国人留学生入試用〉

２０２４年度　弘前学院大学大学院

写　真　票

※受験番号	
フリガナ 氏　名	男・女
1　文学研究科　日本文学専攻修士課程 2　社会福祉学研究科　人間福祉専攻修士課程 外国人留学生入試	
写真貼付 タテ４ｃｍ × ヨコ３ｃｍ	
（注） 受験する研究科の番号に〇を付けて下さい。 ※印欄は記入しないで下さい。	

きりはなさないこと

２０２４年度　弘前学院大学大学院

受　験　票

※受験番号		
フリガナ 氏　名		男・女
1　文学研究科　日本文学専攻修士課程 2　社会福祉学研究科　人間福祉専攻修士課程 外国人留学生入試		
入試日程	Ａ日程：2023年11月 4日（土） Ｂ日程：2024年 2月16日（金） 受　付　8：45～ 入室・説明　9：30～ 論文記述　9：45～ 口頭試問・面接　12：30～	
試験会場	弘前学院大学	
（注） 1 受験する研究科の番号に〇を付けて下さい。 2 ※印欄は記入しないで下さい。 3 受験票は試験会場に持参し、机上に置いて下さい。		検定料30,000円 受領印

きりはなさないこと

２０２４年度　弘前学院大学大学院

検定料納付書

※受験番号	
フリガナ 氏　名	男・女
1　文学研究科　日本文学専攻修士課程 2　社会福祉学研究科　人間福祉専攻修士課程 外国人留学生入試	
年　月　日 検定料30,000円を納付いたします。	
受領印	
（注） 受験する研究科の番号に〇を付けて下さい。 ※印欄は記入しないで下さい。	

きりはなさないこと

速　達

323円分の
切手を
はること

□□□-□□□□

様

学校法人　弘前学院

弘前学院大学

アドミッションセンター

〒036-8577　弘前市稔町13－1　　TEL　0172-34-5211㈹

弘　前　学　院　大　学　大　学　院

出 願 資 格 認 定 審 査 申 込 書

	文　学　研　究　科　日本文学専攻修士課程	※受験番号
	社会福祉学研究科　人間福祉専攻修士課程	

該当する入試区分に〇印を付けてください。

１．一般入試　　２．社会人入試　　３．外国人留学生入試

（フリガナ） 氏　　名 年　　月　　日生（満　　歳）	性別 男　・　女

住　　所	〒 電話番号
学　　歴	年　　月
	年　　月
	年　　月
	年　　月
	年　　月
	年　　月
	年　　月
職　　歴	年　　月
	年　　月
	年　　月
	年　　月
	年　　月
	年　　月
	年　　月
賞　　罰	年　　月
	年　　月
研究業績等	

１.志望研究科に〇印を付けてください。

２.※印欄は記入しないこと。

３.学歴欄は高等学校卒業から記入すること。ただし、外国人留学生は初等教育から記入すること。

４.「研究業績等」がある場合は、論文別刷等を添付すること。
「卒業論文および研究報告書」、「実践活動記録および実践報告書」等がある場合には、その写しを提出すること。

弘　前　学　院　大　学　大　学　院

推　　薦　　書

	文　学　研　究　科	日本文学専攻修士課程
	社会福祉学研究科	人間福祉専攻修士課程

（志望研究科に〇印を付けてください。）

該当する入試区分に〇印を付けてください。
１．一般入試　　２．社会人入試　　３．外国人留学生入試

※受験番号　　氏名

（※印欄は記入しないでください。）

年　　月　　日

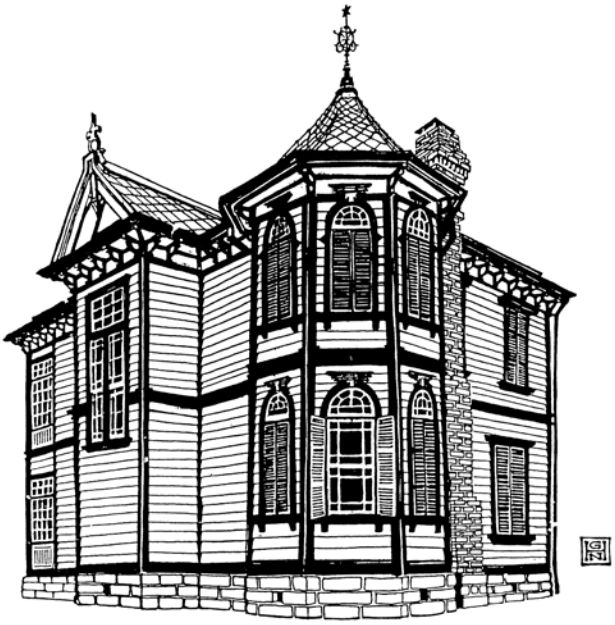
推薦者

所　　属

職　・　氏　名　　㊞

所　　在　　地

志願者との関係



国指定重要文化財　弘前学院外人宣教師館［1906(明治39)年竣工］

入試に関する問い合わせ先

弘前学院大学 アドミッションセンター

〒036-8577　青森県弘前市稔町13－1
☎ 0172－34－5211（代表）
FAX 0172－32－9302
URL　https://www.hirogaku-u.ac.jp
E-mail　nyushi@hirogaku-u.ac.jp